

平成29年度 第2回 紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

開会

新委員紹介

会長挨拶

議題

- ①年間スケジュールについて
- ②紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について【一般財源分】
- ③紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について【概要】

その他

閉会

紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略年間スケジュール

						区成29年度	的バノンエ			
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 1月	2月 3月
	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬 上	旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬 」	:旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下	旬 上旬 中旬 下旬 上旬 中旬 下旬
1 交付金事業の効果検証シートを作成		作成期間 (交付金事業)								
2 関係各課		事務事美ヒアリング					来年度事業策定	総含戦略i に伴うヒア!		
3 経営戦略会議					来年度の重	点施策を決定				
4 まち・ひと・しごと創生本部会の開催			●第1回本部	会(6/14)		第2回本部会(9/	1)			●本部会(未定)
5 まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会	依頼期間	•	第1回審議会(6/1	.3)	評価結 類 ●第2回審議会(8/7)	そを報告				●第3回審議会(未定)
市議会へ検証結果報告 6 (総務文教常任委員会·全員協議会)			●総 教	§文教常任委員会(6/2 ●全員協議会(7/7)	.7)					●総務文教常任委員会(末 ●全員協議会(未定)
7 総合戦略改訂作業								改訂作業		
8 公表				●交付金事業の評価 を会HPで公表		・一般財源分事業の をHPで公表	办評価結果			●総合戦略の改訂版 HPで公表

■基本目標1 地域資源を活かした魅力あるまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価(案)
社会増加数(人)	▲ 176	▲ 352	▲ 398	-226.1%	0	
観光人口(万人)	188.1	185.6	180.8	82.2%	220.0	

	基本的方向·具体的施策	重要業績評価指数(KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1.フル	ツを核とした地域ブランド化							
		紀の川市ファンクラブ会員数(人)	_	150	1,363	45.4%	3,000	「フルーツのまち」としてのイメージは発信できているが、魅力度や認知度など本来、到達させたい付加価値的な要素を訴求するため
	1.フルーツのまちとしてのイメージアップ	フルーツを活かしたメニューを扱う飲食店数(件)	10	30	31	62.0%	50	加度なC本来、到達させたいが加価値がな安系を訴求するため に、フルーツ・ツーリズムを更に推進します。
		地域ブランド調査による魅力度順位(位)	458	276	652	30.7%	200	
2.近	畿大学生物理工学部との連携							 総合戦略の核として位置づけている「近畿大学 生物理工学部」
	1.包括協定締結による総合的な連携	共催事業への市民参加者数(人)	345	500	343	57.2%	600	と、地域ブランド並びに産業技術での分野を重点に連携の可能
	の推進	連携による新規プロジェクト数(件/累計)	1	0	1	10.0%	10	性を探るための協議を開始します。
3.移	住定住の促進							遊休資源である「空き家」を利活用した事業は、人口減少を直
		ワンストップ窓口を活用した移住相談件数(件)	-	0	14	46.7%	30	接的に抑制する数少ない事業のひとつであるので、更に加速化さ
	1.情報発信と受入体制整備	ワンストップ窓口を活用した移住者数(人)	ı	0	0	0.0%	24	せ、若い世代から定住先として選ばれる支援策を講じます。また
		地域おこし協力隊員数(人)	-	1	2	40.0%	5	移住者が就農・創業が望める環境を整備します。
4.地	或資源の連携(既存資源のブラッシュア:	ップ)						・シティプロモーション戦略においてターゲット化した大阪府内の都
		観光協会ホームページアクセス数(件/日)	75	160	216	144.0%	150	市圏女性に、紀の川市の多彩な地域資源を訴求し認知力を高
	1.戦略的PRの展開 2.交流プログラムの構築 3.観光基盤の整備	新しい観光ルートの構築件数(累計/件)	_	0	0	0.0%	5	めるプロモーションを展開します。
		ふるさと納税による寄附件数(件)	11	1,527	3,731	266.5%	1,400	・「貴志駅前(DMO)」「道の駅 青洲の里」が交流拠点となり市
		外国人観光客数(人)	42,834	50,200	45,488	85.0%	53,540	内周遊型の観光ビジネスを展開します。

■基本目標2 魅力ある仕事・職場のあるまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価(案)
農家数(戸)	4,027	4,028	4,028	111.3%	3,620	
事業所単位の従業者数(人)	19,475	18,828	18,828	96.7%	19,475	
市内事業所数(事業所)	2,363	2,297	2,297	97.3%	2,360	

	基本的方向·具体的施策	重要業績評価指数(KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1.魅	力ある農業の実現	・市民意識調査から「後継者確保・担い手不足」の解消が喫緊の						
	1.農業経営基盤の強化	認定農業者数(人)	325	333	329	86.6%		課題とあらわれているので、専業農家に限らず、兼業農家への支援 策も検討します。
	2.フルーツの産地としての競争力強化 3.人材育成・担い手育成	認定新規就農者数(人)	8	20	30	66.7%	45	・有害鳥獣対策は即効性が高い防護策の設置に取り組みます。 ・利益性を重視した6次産業化を推進し働く場の拡大を進めます。
2.地	或イノベーションによる産業活性化・雇用創 	川出						
	1.市内企業の振興・活性化 2.市内起業・商店・事業所の未来を担	製造品出荷額(百万円)	120,932	105,645	105,645	72.8%		低迷している市内産業の活性化を促進するために、企業間連携による新商品開発・技術提携など相乗効果とイノベーションを図り、競
		市内高校新卒者の地元就職率(%)	13.7	18.1	18.1	90.5%	20	争力を強化します。
3.新	たな企業(起業)の創出							・北勢田第2工業団地の年度内完売を目指します。
	1.地域特性・資源にあった企業誘致 2.起業・創業支援	誘致企業数(累計/件)	5	0	2	40.0%	5	・各商工会と連携し創業起業を希望する方への支援に取り組みま
		創業支援件数(件)	_	3	0	0.0%	15	ヺ。

■基本目標3 若い世代から選ばれるまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価(案)
合計特殊出生率(%)	1.20	1.20	1.20	77.9%	1.54	
地域における子育ての環境や支援への満足度が高い割合【就学前児童】(%)	22.7	22.7	22.7	81.9%	27.7	
地域における子育ての環境や支援への満足度が高い割合【就学児童】(%)	16.1	16.1	16.1	76.3%	21.1	

	基本的方向·具体的施策	重要業績評価指数(KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針	
1.出金	会いから子育てまでの切れ目のない支持								
		出会いの場創出によるカップル成立数(組)	15	6	4	13.3%	30	屋前産後のケアを充実させるため、子育て情報提供や虐待発生予	
	1.出会い・結婚支援	希望する子ども数をかなえられた人の割合(%)	33.4	33.4	33.4	83.5%	40.0	防に関する相談窓口として子育て世代包括支援センターを開設し	
	1.山云(『和俎又饭	子育て支援事業の利用度の割合【就学前児童】(%)	17.7	17.7	17.7	95.7%	18.5	ます。 	
		子育て支援事業の利用度の割合【就学児童】(%)	19.0	19.0	19.0	95.5%	19.9		
2.教育	育環境の充実							 具体的施策を構成する各事業の達成度は高いが、市内小学校に	
	1.特色ある学校教育の実践	学校に行くのが楽しいといえる児童・生徒の割合(%)	87.7	87.2	86.9	96.6%	90.0	おける不登校児童の高出現率や、学力調査結果にみられる基礎	
	2.シビック・プライド	地域や社会を良くすることを考えている児童・生徒の割合(%)	31.9	34.3	34.3	85.8%	40.0	学力の低下に対する、正鵠な事業設計、拡充を検討します。 	
3.住理	環境の充実							・結婚新生活支援補助など住んでもらうきっかけづくりに取り組みま	
	1.働きやすく暮らしやすい環境づくり	紀の川市を住みよいと感じている人の割合(%)	74.4	74.4	74.4	93.0%	80.0	す。	
	1.側さやすく春りしやすい環境づくり	20歳から39歳の社会増加数(人)	▲ 180	▲ 258	▲ 338	-187.8%	0	・企業誘致に起因する雇用と定住を促進する経済的支援を検討します。	

■基本目標4 安全安心で暮らし続けたいまち

数値目標	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	総合戦略審議会 評価 (案)
紀の川市に暮らし続けたいと思う市民の割合(%)	76.7	76.7	76.7	95.9%	80.0	
住民基本台帳人口(人)	65,759	65,008	64,129	99.9%	64,180	

	基本的方向•具体的施策	重要業績評価指数(KPI)	策定時の値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	達成率 (H28)	目標値 (H31)	取り組み状況をふまえた今後の方針
1.安	全なまちづくり(防犯・防災対策)	子供や高齢者を狙った犯罪等に対して学校や地域、行政、						
	1.地域防犯力の向上	犯罪率(%)	8.62	7.07	5.46	146.5%	8.00	警察が連携して地域全体を監視し、安全を見守る体制を強化 します。
	2.「自助・共助・公助」による災害対応力の強化	自主防災組織の組織率(%)	59.3	61.1	63.1	63.1%	100.0	・自然災害に対する十分な予防対策にむけて平時から市民1 人ひとりの防災意識を高めるとともに、地域ぐるみで災害に対処 できる自主防災体制づくりを進めます。
2.安/	心なまちづくり(医療・健康・福祉・コミュニティ対策)							・自治会加入率を維持し、自治振興とコミュニティ活動を推進します。
		健康寿命の延伸【男】(歳)	77.07	78.44	78.44	100.5%	78.07	
	1.健康寿命の延伸 2.「絆・思いやりのあるまち」づくり	健康寿命の延伸【女】(歳)	81.73	83.28	83.28	100.7%	82.73	・若年層への乳がん予防啓発と健診を推進します。
		自治会加入率(%)	78.6	78.0	76.4	95.5%	80.0	
3.計i	画的なまちづくり (便利なまちづくり)	京奈和関空連絡道路早期開通にむけたプロモーションや、まち						
	1.京奈和関空連絡道路整備によるまちづくりの推進 2.公共交通の充実 3.生活インフラ整備	公共交通利用者数(人)	2,409,422	2,464,005	2,343,312	87.7%	2,672,000	~~ (0 ~ ++ -+ 1 ,) = 1 ULTUT ~ +U +U =
		歩道等設置道路延長【市道】(m)	33,947	33,944	34,085	96.1%	35,470	画的なまちづくりへの協議をすすめます。